

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	特定非営利法人教育活動サポートセンター
-----	---------------------

取組の名称	「こどもサポート宮ノ下」学習支援事業
実施場所	特定非営利法人教育活動総合サポートセンターサポートセンター 川崎市高津区下作延5丁目11番8号
対象地域	川崎市内
対象地域の特色・課題	川崎市内の各学校では、校内はもとより、家庭や地域社会の各団体、教育委員会などの関係諸機関と連携を取りながら、いじめや様々な要因で不登校になっている児童生徒に対し、学校に復帰できるように取り組んでいるが、十分な成果を上げているとはいえない状況にある。そのような児童生徒の思いに寄り添い、安心して過ごせる居場所づくりや、きめ細かい教育相談や学習支援の場の設定が課題となっている。
取組の趣旨・目的	当サポートセンターは、「子たちに力を」を合い言葉に、平成16年から、学校、家庭、地域社会及び関係諸機関と連携しながら、青少年の自立・健全育成を支援することにより、明るく豊かな社会の実現に寄与することを目的に活動している。 「こどもサポート宮ノ下」では、いじめや不登校、障害などで悩んでいる児童生徒やその保護者に対して、教育相談を継続的に実施し、一対一の個別による学習支援を行い、学校復帰や社会参加のための支援を行っている。
実施内容・実施スケジュール	○学習支援・教育相談に関すること 教育相談 児童生徒、保護者を対象に随時実施した。 学習支援 月曜日から金曜日の週5日、9時から17時まで、1回60分程度を週2回程度、一対一を基本に実施した。 ○支援を必要とする子の保護者の会（年3回実施）

	<p>○サイエンスキッズに関すること</p> <p>実施期間：令和2年1月18日から2月16日までの土曜、日曜に実施。各学校に呼びかけ、年10回実施した。</p> <p>対象者：各回15名を予定したが、延べ84名の児童が参加した。</p>		
参加者の年代	小中学生及びその保護者	定員 (1回あたり)	10名程度
実施頻度	週5日	活動日数 (年間)	234日
スタッフ体制	<p>スタッフ：当サポートセンターの所員 川崎市立公立学校退職教職員 および当サポートセンターの活動に賛同する市民</p> <p>体制：教育相談の面接後、学習支援を希望する小中学生に対して一対一対応で希望する教科の学習支援を実施する。</p>		
連携する団体・ 連携の手法	<p>前述したサイエンスキッズは、東京応化学技術振興団と連携して実施した。</p> <p>このほか、公益財団法人生涯学習財団と連携して、キッズセミナーを実施したり、大山街道ふるさと館で子ども探検クラブを開催した。</p>		
取組実施により 見込まれた効果	<p>現在通所している子どもや保護者の多くは、学校やゆうゆう広場、子ども支援室、教育委員会学校教育部各区教育担当、児童相談所などから紹介されて来ている。ホームページも活用されている。</p> <p>通所後も、各関係機関とは密に連携を図りながら、子どもたちの自立を促すことによって、学校復帰や学習支援による進学の実現を支援していきたい。</p>		